



「スマートシティさいたまモデル」の構築を目指すさいたま市・美園地区
パーソナルデータ利活用実証事業を10月より実施
データ・ドリブンな地域事業モデル構築に向けた試行・検証

美園タウンマネジメント協会（埼玉県さいたま市、会長：西宏章慶應義塾大学教授）では、複数種のパーソナルデータを組み合わせ、セキュアに利活用する“情報信託機能”の社会実装を目指し、さいたま市美園地区周辺を対象フィールドに、パーソナルデータ利活用実証事業を2019年10月から2020年1月にかけて実施いたします。

さいたま市の“副都心”の1つ「美園地区」では、埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」を核に大規模な都市開発が進行中です。住宅供給や店舗建設等も日々進展し、子育て世代を中心に居住人口が急増しつつありますが、多様化するライフスタイルやニーズに応じた都市環境形成や地域サービスの充実、地域コミュニティ醸成等について、持続可能な事業スキーム構築も念頭に推進する事が喫緊のまちづくり課題となっております。そこで美園タウンマネジメント協会¹では、これら地域課題の解決を図りながら、他地区等への普及展開も見据えた「スマートシティさいたまモデル」を構築すべく、先端ICT技術を活用した各種実証サービス事業等に取り組んできています。

こうした取り組みの一環として当協会では、それら実証サービスから収集されるログデータも含め、まちに係るデータの収集・管理・活用を行うためのデータ基盤システム「共通プラットフォームさいたま版²」の開発・運用検証に取り組んでいますが、この度、同基盤システムを活用したパーソナルデータ利活用実証事業「ミソノ・データ・ミライ」プロジェクト³を2019年10月から2020年1月にかけて実施いたします。

本実証事業では、提供を受けた健康関連データや購買履歴等のパーソナルデータを利活用し、実証実験参加者に対する生活提案等を実施いたしますが、その行動変容・健康度の向上等の効果検証とともに、データ利活用を通じた一人ひとりのライフスタイル・ライフステージ等に応じた生活支援サービスの開発可能性の検証や、データ利活用に係る地域ビジネスモデル構築の基礎となるパーソナルデータの経済的価値検証等を進めてまいります。

2019年度「ミソノ・データ・ミライ」プロジェクト 実証実験概要

■目的・概要

実証実験モニター参加者から体組成・活動量・血液データ等の要配慮情報を含む健康関連データや、WAONカード・クレジットカードの購買履歴等のパーソナルデータの提供を受け、その統合的な分析・利活用しながら生活提案等の地域サービスを行う。また、その効果検証を通じて、データ利活用を通じた住民一人ひとりに最適化された地域サービスの開発可能性や、パーソナルデータの経済的価値等の検証を行う。

■実証実験メニュー例

- ▶参加者に無償配布する「健康管理用スマートウォッチ」や「IoTスマート歯ブラシ」を専用アプリと共に使用いただき、同アプリの収集データや体組成データ等を分析・評価し、イオン浦和美園店内の「ヘルステーション」等で健康アドバイスを実施。
- ▶事業開始時に開催する健康測定会にて「ヘモグロビン測定」を実施し、その数値に応じてセミナー開催等を通じた食改善等指導・提案を行い、事業終了時に改善効果を検証。

■期間 2019年10月22日(火)～2020年1月26日(日)

■参加募集 抽選100名（申込みに際しての条件あり）

美園タウンマネジメント協会
2019年度
「ミソノ・データ・ミライ」プロジェクト
~パーソナルデータ利活用実証事業~

限定
100名
10/14
抽選申込み
〆切

参加者募集中!

体組成・活動量・血液データ等の健康関連データや、WAONカード・クレジットカードの購買履歴等のパーソナルデータ(個人データ)を提供いただき、そうして取得したパーソナルデータの分析・利活用を通じて、一人ひとりに最適な生活提案等を行う実証実験に参加いただく方を募集します!!

実験プログラム例1
参加者に無償配布する「健康管理用スマートウォッチ」(スマート歯ブラシ)を専用アプリと共に使用。
アプリの収集データや体組成データ等を分析・評価し、イオン浦和美園店内「ヘルステーション」等で健康アドバイスを実施。

実験プログラム例2
事業開始時に「健康測定会(体験会)」にて「ヘモグロビン測定」を実施。
数値に応じて、セミナー開催等を通じた食改善等指導・提案を行い、事業終了時に改善効果を検証・検証いたします!!

裏面もご確認のうえ、プログラム詳細や申込みは右記Webページ(QRコード)へ!
主催: 美園タウンマネジメント協会
企画運営: 慶応義塾大学、工学部大学院、東京電機大学、イオン株式会社、イオンクレジットサービス株式会社、アールエスエス株式会社、新井システム株式会社、システムエス、SONOのぞみ(株)生活情報部
後援: ネットヘルズリンク、日本アイ・ビー・エム株式会社、(一社)おてもてはらICT協議会、(一社)美園タウンマネジメント、(一社)シー・プランニング
協賛: 筑波大学大学院
※2019年10月22日(火)から10月26日(土)までの期間限定で実施いたします。

■実施体制

- ▶主催：美園タウンマネジメント協会
- ▶企画運営：慶応義塾大学、工学院大学、東京電機大学、イオン(株)、イオンリテール(株)、イオンクレジットサービス(株)、ウエルシア薬局(株)、(株)タニタヘルスリンク、SOMPO ひまわり生命保険(株)、シルタス(株)、(株)ジャパンヘルスケア、日本アイ・ビー・エム(株)、ソフトバンク(株)、(一社)おもてなし ICT 協議会、さいたま市、(一社)美園タウンマネジメント、(株)シード・プランニング
- ▶監修：筑波大学大学院（人間総合科学研究科 久野譜也教授）

※その他詳細については、別紙募集案内チラシもしくはアーバンデザインセンターみその[UDCMi]公式 Web サイト内の実験参加者募集案内ページ（上記 QR コード）をご参照ください。



▲参加募集案内ページ
(UDCMi 公式サイト内)

- i さいたま市美園地区の加速度的な成長・発展を推し進めるため、2015 年 8 月に設立（会長：西宏章慶応義塾大学教授／事務局：(一社)美園タウンマネジメント）。本地区のまちづくり情報発信・活動連携拠点施設「アーバンデザインセンターみその」（略称：UDCMi）を拠点に、“公民+学”の各主体が業界の枠を超えて連携し（42 団体加盟：2019 年 9 月時点）、最先端の ICT・IoT 技術や大学・民間企業の知見を生かした先進的な総合生活支援サービス等の創出を図り、「スマートシティさいたまモデル」の構築・発信を目指している。
- ii 特定のメーカーやデバイスを問わずにデータの収集・管理・活用する機能、パーソナルデータの提供先を利用者が選択できる機能を保有する。
- iii 本事業は、総務省令和元年度予算「情報信託機能活用促進事業」を活用して実施しております。（代表申請者：一般社団法人美園タウンマネジメント）

《この件についてのお問い合わせ先》

一般社団法人美園タウンマネジメント（担当：末次・黒沢）

Phone. 048-812-0301 E-mail. info@misono-tm.org